

AIたちとの関わり方

白鷗中学校 一年 鹿倉 明莉

最近、自動で絵を描いてくれる生成AIや、様々なことができるチャットGPTなど、色々なAIが出てきています。SNSでも画像生成AIをよく見ます。

また、おでかけをしたときに、自動で食べ物運びロボットや、自動でおそうじをしてくれるロボットを見かけました。人がぶつかりそうになったときに感知してよけたり、「いらっしやいませ。」と言ってお客様を迎えていたり、かわいくてすごいなと思いました。

このように、最近は最新AIやロボットが出てきています。ですが、色々なものが出てきている中で、私は思うことがあります。それは、AIや機械などが増えすぎていくと、人間とAIたちとのバランスが悪くなってしまおうということです。増えすぎると人間のやる仕事は減っていつてしまおうし、AIなどが無くなってしまおうと人間の方が大変になってしまいます。なので、バランスをよくしたほうが良いと思いました。

でも、バランスよく関わっていくためにはどうすれば良いでしょうか。そこで、私には考えがあります。

一つ目は、AIたちができることとできないことを分析して、AIたちができないことを人間が行い、AIたちができることをAIが担っていく、という方法です。例えば、AIは人の気持ちを理解することは難しいと思います。なので、AIは接客業に向いていないかもしれません。でも、お店の裏側では活躍するかもしれません。品出しをしたり、商品を梱包したり、在庫を整理することなどはできると思います。もちろん全てAIたちにまかせっきりにすることもよくないと思います。なので、程よく関わっていくことが大切だと思います。

二つ目は面倒なことをすべてAIたちにまかせっきりにしないということです。もちろん、面倒なことが無くなることはとても良いことだと思います。でも、面倒なことをなにもしないと、人は成長しないと思います。楽なほうに逃げていても、得るものはなにもありません。なので、ちょっとしたことでも、面倒なことをしていくことが大切だと思います。計算が面倒臭くて電卓をすぐに使う、一度自分で考えず、なんでもインターネットで調べ、ネットの情報に頼ってしまう。そういう少しのことでも、自分の手で行えば、また違った考えや見方をすることができると可能性があります。また、自分の成長にもつながります。なので、AIたちにまかせっきりにしないほうが良いと思いました。

ですが、これはAIや機械を使ったほうが良いかなと思うものがあります。例えば、高所での作業など、命に関わる危ない仕事は、AIや機械を使ったほうが良いと思います。

私達が大人になるころにはAIたちがグングン発達してすごい世の中になっているかもしれない。でも、そんな世の中になっても、AIと人間達が上手に関わっていったらいいなと思います。